

301. 業務分析設計概説 ～システム開発における要件定義のまとめ方～

1. 研修要領

・研修場所	出島交流会館
・研修受講料	59,000 円(税別)
・テキスト代	5,000 円(税別)
・研修実施時間	9:30 ～ 16:30 (1日=6時間)
・研修実施日	平成24年7月26日(木)・27日(金)
・講師	海老原 孝徳
・定員	16名

2. 対象者

システム開発で顧客要件の定義作業に携わる必要のある方。

3. カリキュラムの概要

情報システム開発における要件定義のうち、業務要件定義を中心に作業手順や主な成果物を講義と演習で学習します。情報システム開発における要件には大きく、経営要件、業務要件、システム要件があります。業務要件を明確に定義するには、その前提となる経営要件を確認したり、後続するシステム要件との関係についても理解しておく必要があります。それぞれの関係や重要性、作業手順、主な成果物などについて学習します。また、次工程で行うシステム設計とのつながりについても学習します。演習では、事例業務について経営要件を把握し、業務要件やシステム要件を定義します。グループでのディスカッションや成果物の作成により、さまざまな考え方や気づきを得ることができます。

4. カリキュラムの詳細(12時間)

2日間

科目	時間	科目の内容
1. システム開発における要件定義の意義と必要性	1.0	・システム開発における要件定義の意義 ・システム開発における要件定義の必要性
2. 事業要件定義作業の進め方	2.0	・システム開発の工程と要件定義 ・企画工程で定義する事業要件に関する作業 ・企画プロジェクトの編成 ・情報化方針の設定 ・情報化テーマの設定 ・情報化計画の作成
3. 業務要件定義作業の進め方	2.0	・業務要件の定義に関する作業 ・要件定義プロジェクトの編成 ・現状業務の調査・分析 ・問題分析と新たな業務目標の明確化 ・目標を実現する手段検討 ・新規業務の検討
演習	1.0	演習問題1 事業要件を受けた業務要件のまとめ
4. システム要件定義作業の進め方	1.5	・システム要件の定義に関する作業 ・システム化業務フローの定義 ・システム要件の定義
5. 設計工程へのつなぎとシステム設計	1.5	・設計工程へのつなぎ ・システム設計の概要
演習	3.0	演習問題2 業務要件を受けたシステム要件のまとめ 演習発表、評価
	12.0	

5. 使用教材

業務分析設計概説～システム開発における要件定義のまとめ方～(富士通ラーニングメディア)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 経営要件、業務要件、システム要件の関係を理解する。
2. システム要件を定義するに当たって、経営要件を確認したり、業務要件を定義することの重要性を理解する。
3. 経営要件として確認すべき内容を理解する。
4. 業務要件の定義について作業手順や主な成果物について理解する。
5. システム要件の定義における作業手順や主な成果物について理解する。
6. 開発するシステムを見積もる方法の種類と概要を理解する。
7. システム要件を定義するに当たって、経営要件を確認したり、業務要件を定義することの重要性を理解する。